

## 福島で「フラガールズ甲子園」 最優秀賞に関東学院 仁賀保、映像部門に参加



「フラガールズ甲子園」で初の最優秀賞に輝いた関東学院高の「自由曲の部」のダンスは21日午後、福島県いわき市

表現力や演舞力などの合計得点を争った。優勝した関東学院2年でダンス部部长の青木寧香さん(16)は「まさか賞を取れるとは思っていなかった。で(受賞を聞いたときは)うれしさと泣きたい気持ちが入り交じって頭がすっからかんなってしまっただ」と喜んだ。

全国の高校生がダンスの日を競う「フラガールズ甲子園」が21日、新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに福島県いわき市で開かれ、横濱市の関東学院高が初の最優秀賞に輝いた。本県からは審査対象外の映像部門に仁賀保高が参加した。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興を

の観客を魅了した。舞を披露。詰めかけた約千人

今回は、大会が誕生するきっかけになった書道パフォーマンス甲子園発祥の愛媛県立三島高が四国で初めて参加。ダンス部所属の1年生10人が元気いっぱい踊りで新人賞に輝いた。三島高書道部は大いなる理念の「踊るころ」と揮毫した作品を送り、会場に張り出された。